

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: “HY-WIRE”

COLOR: BLUE solid / YELLOW&VIOLET pearl

COVER STOCK: 62M HYBRID REACTIVE

RG : 2.50 (MED) ΔRG: 0.043 (MED)

FACTORY FINISH: 1500-Grit POLISH

TRACK FLARE POTENTIAL: 5+

BACK END: 17 (1-20) MAX LENGTH : 18 (1-20)

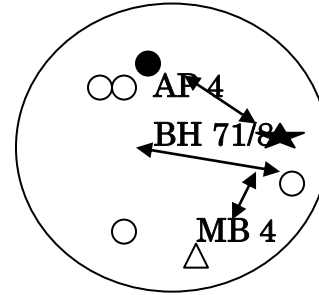
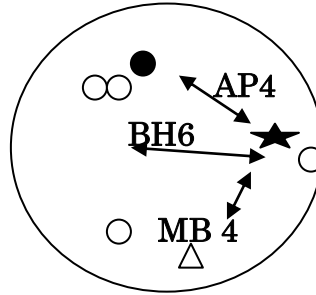


平成 28 年 1 月 19 日

レイアウト例

HY-WIRE

HAYWIRE



O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショングラフ

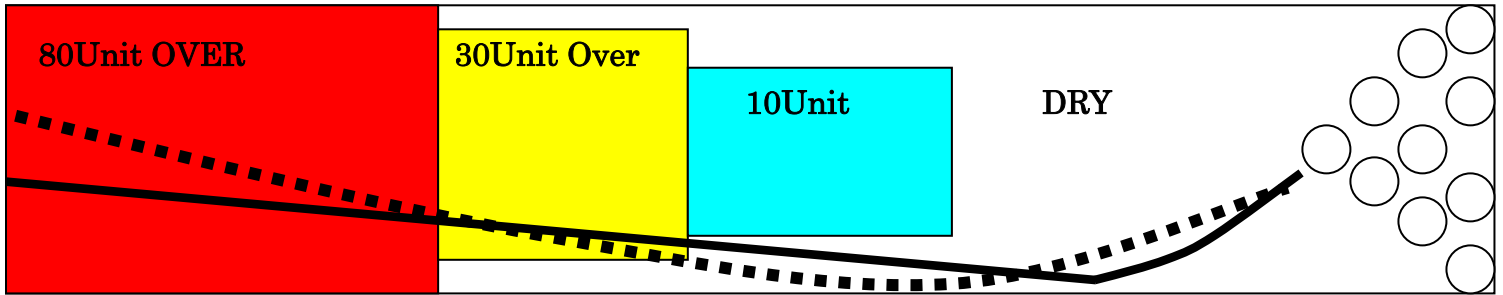
【MEDIUM HEAVYOIL 編】

CA52 度

CA52 度

フラー幅 最大 63/4・間隔 1/8

最大 6 3/4・間隔 1/8



0F 比較品ライン 15F HY-WIRE 40F HAYWIRE

【レーン状況】 ベースメンテナンスはツインスターで、15F まではスプレオイルで増量し 50 エット以上、ドレッシング距離は 40F までオイル量的にはミディアム仕様でバックエンドはクリーニングを手拭きで仕上げドライな状況です

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○				△		



*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

MiddleRoll70 コアで一躍飛躍した HAYWIRE の第二弾目となるこの製品は、摩擦係数を大幅に激減させる事でレーン手前の薄いオイルにも直進性を発揮します。バックエンドでは安定したアーク状の曲りで全体的な曲り幅は少ない印象でした。フレアも非常に細かい幅で出て MiddleRoll70 の転がり感は失う事なくピンにヒットします。

【ここが POINT】



この手の製品は前作でもそうでしたが各ボウラーから多くの質問を受けます。その質問の多くは“どの場面で使うの?” というものですが、試合で言えば後半戦でレーン手前のオイルが薄くなりバックエンドがキャリーし始めた場面で私は多用します。また、オイル量が外目に少ないレーンが基本ですが、アウトサイドから投げていると本当に楽に投げられピンの弾きも非常に良いので、曲りが少ない方には最適ですね。前作とは 180 度違いがあり前作 HAY WIRE でレーン手前が噛み過ぎる時に変えると最高です。目立ち方が地味ですが非常に重宝するラインナップだと思います。

発売日 28 年 4 月 販売価格 ¥43,000 円 (税別) テストセンター本八幡ハタボウル テスター石原 章夫プロ